

▶ 第2章

「脱中入米」強める韓国財閥

——政権交代と中国事業の苦境も契機に

日本経済新聞社 ソウル支局記者

細川 幸太郎

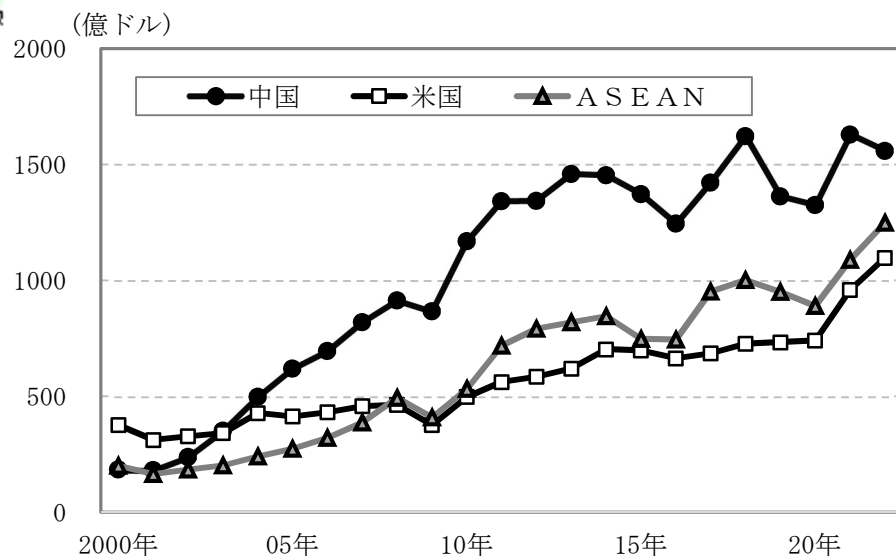
【ポイント】

- ▶ 韓国産業界は半導体や車載電池など米政府が「戦略物資」と定める製品の主要プレーヤーだ。韓国財閥大手は米政府の呼びかけに応じて米国に新たな製造拠点を設けるなど「脱中入米」の動きを強めている。
- ▶ 韓国で5年ぶりに政権交代した影響も大きい。保守系の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は韓米同盟を重視。「過去の輸出戦略を転換し、自由・人権・法治という普遍的価値を共有する国々と経済を通じて連帯する」と名指しこそ避けたものの、韓国経済の「中国外し」を進める姿勢を鮮明にしている。
- ▶ 韓国企業にとって中国は依然として巨大な市場だが、近年は地元企業が製品性能を向上させ、苦境に立たされるケースも多い。中国市場への期待を断ち、米国のほか東南アジアに活路を見出す動きもある。



注目データ

韓国の主要輸出先の輸出額推移



資料：韓国貿易協会